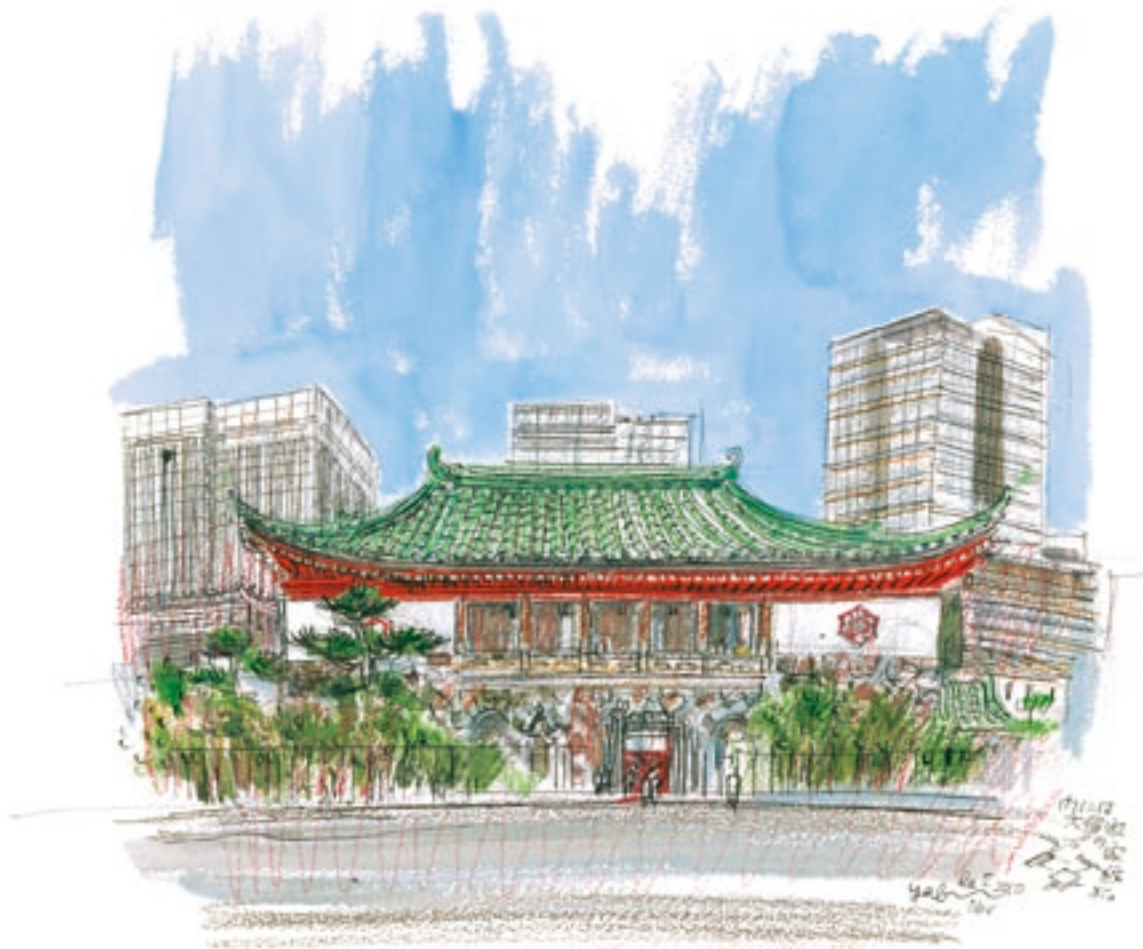


2010
年度

中間期ご報告

Circle

たいせいサークル



大倉集古館 1927年竣工 東京都港区 (社史探訪:8ページ)
表紙イラスト/藪野健

大成建設株式会社



グループ理念

人がいきいきとする環境を創造する

CONTENTS

- 1 グループ理念・目次
- 2 株主の皆様へ
- 3 連結財務ハイライト
- 5 受注・完成工事ご報告
- 7 TAISEI NOW
- 8 社史探訪一表紙は語る
- 9 会社の概要
- 10 株式情報
- 11 株主優待制度

株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

世界経済は、各国の景気対策の効果により一時回復傾向にありましたが、景気回復のテンポが予想以上に遅く、多くの先進国で財政赤字が拡大し続けた結果、景気の二番底回避と財政再建という難しい舵取りを強いられています。日本経済は、デフレの長期化と円高が輸出拡大による景気回復シナリオを無力化したことにより、景気減速懸念が強まっています。

そうした中、国内建設市場は、公共事業費の抑制や設備投資の減少により市場規模の縮小が続いています。

当社グループにおきましては、2009年度から新たな中期経営計画（2009～2011年度）をスタートさせております。新たな計画では「市場縮小下における利益確保」を目指して経営課題の達成に取り組み、非常に厳しい経営環境ではありましたが、初年度は目標を達成いたしました。

今年度は建設需要がさらに減少する可能性が高いことを踏まえ、当初の経営課題を一部ブラッシュアップし「収益力のアップ」と「財務体質の強化」を最優先の経営課題として取り組むことで、連結経常利益230億円の目標達成を目指しております。

建設業界を取り巻く環境は一段と厳しさを増していくものと思われませんが、株主の皆様におかれましては今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

山内隆司

■ 営業の概況

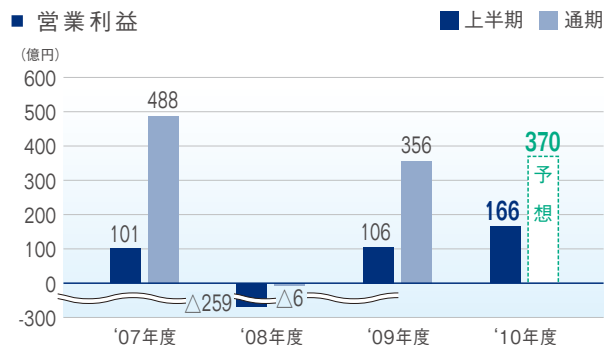
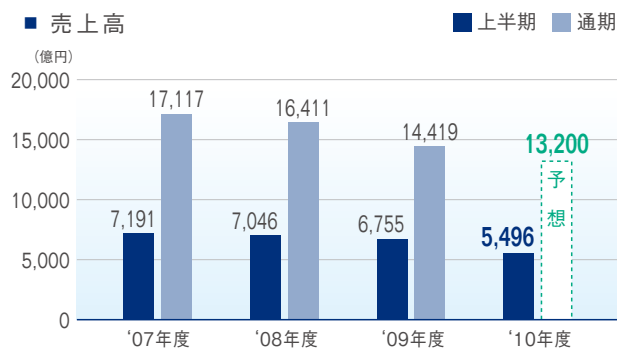
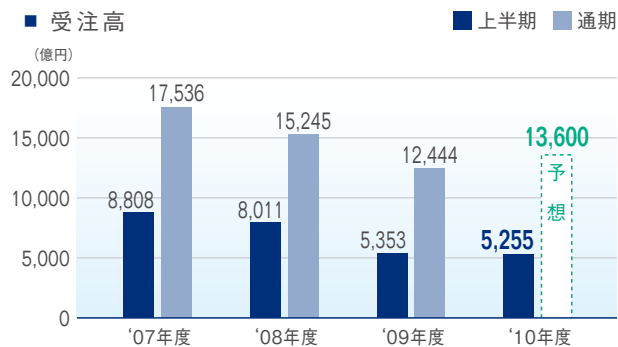
日本経済は、最悪期を脱したものの自律的な回復には至らず、景気減速懸念が強まっています。国内市場は、公共事業関係費の大幅な削減や国内企業の海外投資比率が高まる傾向にあり、国内投資の減少は避けられない状況にあります。

このような事業環境下において、当社グループは中期経営計画（2009～2011年度）に基づき目標達成に取り組んだ結果、経営成績は以下の通りとなりました。

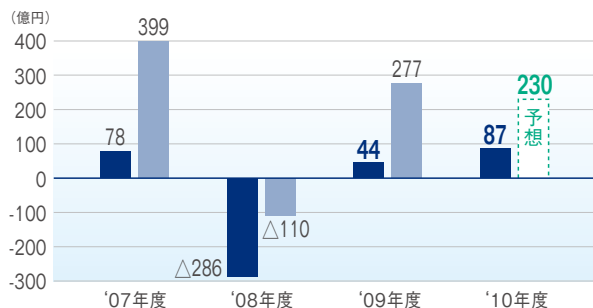
当社グループの当上半期の受注高は前年同期比1.8%減の5,255億円でした。その内訳は土木・建築事業90.6%、開発事業等9.4%です。

売上高は前年同期比18.6%減の5,496億円でした。その内訳は土木・建築事業91.2%、開発事業等8.8%です。

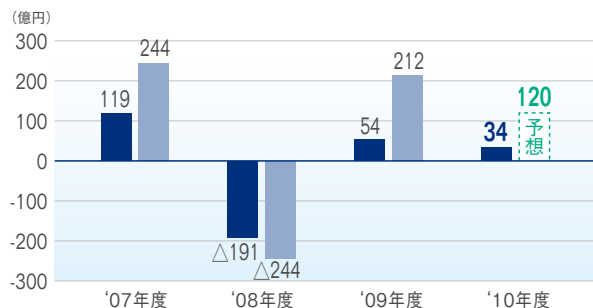
利益については、売上総利益の好転及び販管費の削減により営業利益は前年同期比56.5%増の166億円、経常利益は前年同期比96.8%増の87億円となりました。当期純利益は、投資有価証券売却益の減少等に伴う特別損益の悪化により前年同期比36.9%減の34億円となりました。



■ 経常利益



■ 当期純利益



■ 総資産・純資産

(単位：億円)

		'07年度	'08年度	'09年度	'10年度
総資産	上半期	18,600	16,666	16,003	13,949
	通期	17,394	16,714	15,012	—
純資産	上半期	4,076	3,354	2,997	2,885
	通期	3,739	2,847	2,971	—

大成建設グループ (主要な子会社)

大成ロテック (株)	道路舗装工事、その他土木工事、舗装用アスファルト合材の製造・販売等
有楽土地 (株)*	不動産の分譲・賃貸・斡旋・鑑定・コンサルティング、保険代理業
大成ユーレック (株)	集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事の企画・設計・施工、コンクリート部材の供給
大成設備 (株)	空調・衛生・電気他設備工事業
大成サービス (株)	ビル・マンション等の管理、警備等
大成建設ハウジング (株)	コンクリート住宅「パルコン」ほかの設計・施工・販売、マンション・戸建住宅のリフォーム
成和リニューアルワークス (株)	建設・産業機械の製作・販売、土木建築の基礎工事等
大成コンストラクション	米国における建設工事全般

*大成建設グループ全体の経営資源を有効に活用することによる事業効率の更なる向上を目的とし、2010年4月1日付で有楽土地(株)を新株発行を伴う株式交換により完全子会社化したしました。

■ ■ ■ ■ ■ 受注・完成工事ご報告

主な完成工事のご報告

CONSTRUCTION COMPLETED



▲仙台トラストタワー新築工事
(宮城県)
森トラスト(株)



▲赤坂四丁目薬研坂南地区第一種市街地再開発事業
施設建築物新築工事
(東京都)
赤坂四丁目薬研坂南地区市街地再開発組合



アラブ首長国連邦 ヤス島南トンネル工事▶
(アラブ首長国連邦)
アルダール社

二子玉川東地区第一種市街地再開発事業に係る▶
 施設建築物新築工事（Ⅲ街区）
 （東京都）
 二子玉川東地区市街地再開発組合



◀東京国際空港D滑走路建設外工事
 （東京都）
 国土交通省関東地方整備局

主な受注工事のご報告

CONTRACTS RECEIVED

工事名称	場 所	発注者
東京外環自動車道 田尻工事	千葉県	東日本高速道路(株)
東京エレクトロン宮城株式会社 本社工場新築工事	宮城県	東京エレクトロン宮城(株)
(仮称) 京橋3-1プロジェクト 新築工事	東京都	京橋開発特定目的会社、第一生命保険(株)、片倉工業(株)、 清水地所(株)、京橋三丁目特定目的会社、 ジェイアンドエス保険サービス(株)
(仮称) 目黒区下目黒二丁目計画	東京都	三井不動産レジデンシャル(株)
おおさか東線東海道こ線橋外新設他工事	大阪府	西日本旅客鉄道(株)

自然に学び、 自然を大切にする企業で あり続けるために

2010年10月、愛知県名古屋市で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)は、生物資源の利用ルールや生態系の保全目標を採択しました。当社は、COP10関連行事である「企業経営層と各国閣僚級との懇談会」に参加し、日本企業を代表して各国閣僚や政府関係者、経団連加盟企業など多数の参加者に対し「企業の生物多様性に関する取り組み」についてプレゼンテーションを行いました。

壇上、社長の山内は当社の2つの取り組み事例を紹介。“豊かな生態系をつくった事例”として挙げた「札幌ドーム」(2001年竣工)では、エコロジカルプランニングという計画手法により、生物に最適となる樹林や水辺などの環境を創出したことで、竣工後10年目調査において建設前を大きく上回る多様な種類の鳥類や昆虫の姿を確認できたことを報告しました。

また、“生態系を保全している事例”として、道路などによって、ニホンヤママネやリスなど樹木の枝を移動する小動物の移動経路が分断されないよう、吊り橋状の「アニマルパスウェイ」を設

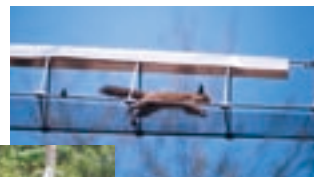


社長講演風景



置している活動についても紹介しました。

今後、生物多様性の保全は地球温暖化防止とともに、企業活動にとってますます重要なテーマとなります。当社は、人と生き物がいきいきとする環境を、次の世代へ残していくために、生物多様性の保全に一步一步挑戦し続けていきます。



アニマルパスウェイ

貴重な古美術品を収蔵した日本初の私立美術館

大倉集古館



古美術品を海外流出から保護した蒐集活動

「大倉集古館」は、大成建設の創業者である大倉喜一郎が1918（大正7）年に開館した、日本で最初の私立美術館です。明治維新以来、日本の産業振興と貿易の発展に尽くし、数多くの事業を興してきた大倉は、古美術品の蒐集家でもありました。その蒐集物は、江戸幕府瓦解に伴う大寺院の荒廃や明治初期の神仏分離令によって、多数の貴重な仏教美術品が海外に流出していたことを惜しんだ大倉が蒐めだしたものです。その後、中国や朝鮮、インド、チベット、タイなどの方面からも、仏像を中心に熱心な蒐集を始めました。

そのようにして長年蒐めた古美術品を私蔵せず、より多くの人々に鑑賞してもらおうと考えた大倉は、すべてを公共に寄付すべく、1917（大正6）年に「財団法人大倉集古館」を設立。そして翌年、現在のホテルオークラ東京が建つ当時の私邸内に「大倉集古館」が誕生しました。美術品3,700点余、書物15,600冊を収蔵したとされています。

中国の古典様式を取り入れた新建築で復興

開館から5年後の1923（大正12）年、関東大震災の発生により、「大倉集古館」は建物と多数の貴重な収蔵品を焼失しました。残された美術品は、猛火の中

を運び出されたものや土蔵にあったものなどに限られましたが、大倉は蒐集の継続と集古館の再生を決意し、復興資金を財団に寄付しました。そして、東洋および日本建築史の権威である東京帝国大学教授、伊東忠太氏に設計を依頼し、中国の古典様式をデザインに取り入れた耐震・耐火建築の現「大倉集古館」が1927（昭和2）年に完成しました。

その後、近代日本画を中心とする新たな蒐集活動は、長男の喜七郎によって引き継がれ、現在では美術・工芸品2,500点余、中国の古典籍1,000部余を所蔵しています。また建物は、1998（平成10）年に国の登録有形文化財に指定されました。

国内外から多くの人々が鑑賞に訪れる「大倉集古館」に、機会あればぜひお立ち寄りください。



大倉集古館



国宝／普賢菩薩騎象像

写真提供：大倉集古館
参考文献：「大倉喜一郎の豪快なる生涯」（砂川幸雄著 柳草思社）

会社の概要 (2010年9月30日現在)

●商号

大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

●設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

●資本金

112,448,298,842円

●本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号新宿センタービル
電話 03(3348)1111

●従業員数(就業人員)

8,282名

●支店

東京支店(東京都新宿区)	北信越支店(新潟市)
関西支店(大阪市)	四国支店(高松市)
名古屋支店(名古屋市)	千葉支店(千葉市)
九州支店(福岡市)	関東支店(さいたま市)
札幌支店(札幌市)	神戸支店(神戸市)
東北支店(仙台市)	京都支店(京都市)
中国支店(広島市)	国際支店(東京都新宿区)
横浜支店(横浜市)	

●技術センター(横浜市)

●国内営業所等

54カ所

●海外拠点

中東支店(アラブ首長国連邦)	ジャカルタ営業所
ソウル営業所	インド営業所(ニューデリー)
台北営業所	北アフリカ営業所(エジプト)
フィリピン営業所(マニラ)	アメリカ営業所(カリフォルニア)
クアラルンプール営業所	ペルー営業所(リマ)

●役員

取締役

代表取締役社長	山内隆司
代表取締役	市原博文
代表取締役	木村洋行
代表取締役	阿久根操
取締役	荒井康博
取締役	茂手木信行
取締役	尾形悟
取締役	清水宣治
取締役(非常勤)	関谷哲夫
取締役(非常勤)	山本恵朗

*関谷哲夫および山本恵朗は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

監査役

常任監査役(常勤)	詫間博康
常任監査役(常勤)	坂巻明人
監査役(非常勤)	中島孝夫
監査役(非常勤)	上野治夫
監査役(非常勤)	長澤長

*中島孝夫、上野治夫および長澤泰は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

執行役員

社長	山内隆司	常務	小泉徹
副社長	市原博文	常務	小菅和彦
副社長	木村洋行	常務	台山文啓
副社長	阿久根操	常務	山田英利
専務	荒井康博	常務	安川茂樹
専務	久保博司	常務	安渡邊隆得
専務	茂手木信行	役員	村上正洋
専務	多田博是	役員	今野進
専務	尾形悟	役員	岡田康志
専務	山田潤二	役員	鈴木康勉
常務	前田誠孝	役員	森桂純
常務	古厩敏男	役員	柳沢孝行
常務	富永明	役員	吉浜紀光
常務	吉田秀味	役員	松田稔雄
常務	近江孝夫	役員	池口純一
常務	岸本隆	役員	山田正嗣
常務	林内正建	役員	辻田修夫
常務	谷仙頭靖夫	役員	辻吹純夫
常務	仙頭史久	役員	田村剛
常務	大野呂一幸	役員	田村剛
常務	清水宣治		

株式の状況

発行可能株式総数 **2,200,000,000** 株

発行済株式総数 **1,140,268,860** 株

当期末株主数 **107,046** 名

※2010年4月1日を効力発生日とする有楽土地(株)との株式交換により、同日付で新株式を発行したため、発行済株式総数は49,646,378株増加し、1,140,268,860株となっております。

株式分布状況

所有者別状況

金融機関	341,356 千株	29.94%
証券会社	16,337 千株	1.43%
一般法人	94,400 千株	8.28%
外国人	255,038 千株	22.37%
個人・その他	433,136 千株	37.99%

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
- 上場証券取引所 東京・大阪・名古屋
- 単元株式数 1,000株
- 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 公告の方法 電子公告
公告掲載URL (<http://www.taisei.co.jp/>)
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができないときは、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。
- 配当金のお支払いに関する通知書について 租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	81,326	7.14
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	45,167	3.96
大成建設社員持株会	32,788	2.88
大成建設取引先持株会	26,301	2.31
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.03
三菱地所株式会社	17,604	1.54
SSST ODD5 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS	17,591	1.54
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	17,298	1.52
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.41
明治安田生命保険相互会社	14,238	1.25

※出資比率は発行済株式総数より自己株式(653,618株)を控除して計算しております。

	証券会社に口座を お持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座へ記録されている場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区 和泉2丁目8番4号
電話お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座へ記録されている場合)」の電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

【お知らせ】

- 配当金のお支払いについて
配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。
下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますので再度ご確認をお願いします。

(お支払期限)

- ・148期期末配当金：2011年6月27日
- ・149期中間配当金：2011年12月5日

株主優待制度

当社株式への投資の魅力を高め、当社株式を保有していただける株主の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施いたします。

1 対象株主様

平成23年より、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1,000株以上ご所有の株主様を対象に実施いたします(毎年6月下旬発送)。

なお、平成22年のみ、9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された1,000株以上ご所有の株主様にも株主優待制度を実施いたします。

2 株主優待の内容

	優待内容	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上 20,000株未満	20,000株以上
①	ゴルフ場 ご優待クーポン券	2,000円分 1枚	5,000円分 1枚	
②	工事請負代金・仲介手数料等 割引クーポン券	10,000円分 1枚	30,000円分 1枚	
③	簡易地震リスク診断申込書	-	-	1枚



株主ご優待・割引クーポン券(表紙)

① ゴルフ場ご優待クーポン券

【ご利用可能施設】

・軽井沢高原ゴルフ倶楽部 <http://www.karuizawa-kogen.com/>

※本クーポン券は、翌年6月30日のご利用分まで有効といたします。

※お一人様ご利用1回につき1枚ご利用できます。

※現地精算でゴルフプレー料金の一部としてご利用できます。

※営業期間は、毎年4月上旬より11月下旬までとなります。

② 工事請負代金・仲介手数料(売買・賃貸)等割引クーポン券

・次の通り、当社のグループ会社にご注文またはご依頼いただいたご利用対象代金の一部としてご利用いただけます。

グループ会社名	ご利用対象
大成建設ハウジング(株)	工事請負代金 (新築工事・リフォーム工事等)
大成ユーレック(株)	工事請負代金 (新築工事・リニューアル工事等)
有楽土地住宅販売(株)	仲介手数料(売買・賃貸) 工事請負代金(リフォーム工事等)

※本クーポン券は、翌年6月30日のご利用分まで有効といたします。

※ご注文1回につき1枚ご利用可能です。

※新築工事請負代金、リフォーム工事請負代金及びリニューアル工事請負代金につきましては、請負代金が210,000円(税込)以上の際にご利用可能です。

③ 簡易地震リスク診断申込書

・所定のチェックシートに対象建物の所在地、規模、形状、建設年等をご記入の上ご返送いただきますと、想定地震による所在地の震度、液状化情報、建物の定性的な耐震予備診断等について簡易診断したレポートをご提供いたします。今後の地震対策をご検討される際の参考にしていただけます。

昭和56年6月に建築基準法が改正されており、それ以前に建築確認を受けている建物について、特にお薦めします。

※本申込書は、翌年6月30日のご依頼分まで有効といたします。

※診断対象建物は、株主様名義(共有・区分所有を含む)の日本国内にある物件に限らせていただきます。

※申込書1通で建物1棟の簡易地震リスク診断をご利用いただけます。

※本診断は、株主様がチェックシートにご記入された建物情報のみに基づき行う簡易地震リスク診断であり、建物調査や図面に基づく耐震診断を行うものではありません。

※現地調査は行いません。

※戸建住宅につきましては、大成建設ハウジング(株)と共同で実施いたします。

※チェックシートをご提出いただくから簡易地震リスク診断報告書(レポート)のご提供まで、2~3週間要する場合がございます。